

## 第 I 編 総説～アウトルック

### 第 1 章 環境問題の基本認識

- 1 環境問題の経緯
  - A 高度経済成長に伴う産業公害
  - B 消費活動の活性化に伴う都市・生産型公害
  - C 資源・エネルギー問題
  - D 地球環境問題
  - E 環境外交の時代
- 2 環境問題の基本的構造
- 3 今日の環境問題の特質
  - A 広範な国民／消費者の巻き込みが必要
  - B 何が問題か，どういう問題か，わかりにくい
  - C 環境コミュニケーションが重要
  - D グローバル化への対応
  - E 教育と技術への期待
- 4 2050年：持続可能な社会に向けての3大テーマ
  - A 低炭素社会
  - B 自然共生社会
  - C 循環型社会
- 5 「クレジット」の基礎—評価・認証の信頼性
  - ・関連キーワード①：ロハス
  - ・関連キーワード②：グリーン・サービサイジング事業
  - ・関連キーワード③：レアメタル

### 第 2 章 詳論①：地球温暖化——これまでの15年，これからの15年

- 1 「成長の限界」と「人間環境会議」
- 2 リオ・サミット(国連環境開発会議)と京都議定書
- 3 IPCCの活動・報告と顕在化する温暖化現象
- 4 根強い「CO<sub>2</sub>は原因ではない」説
- 5 洞爺湖サミットの成果
  - A MEM 会合の成果
  - B セクター別アプローチとコベネフィット・アプローチ

- C 原子力の位置づけ
- 6 今後の対応——今、何をすべきか
  - A 温暖化緩和策
  - B 温暖化影響への適応策
  - C 金融危機と地球温暖化対策
    - ・関連キーワード④：環境税
    - ・関連キーワード⑤：CCS
    - ・関連キーワード⑥：オイルサンド／ビチューメン
    - ・関連キーワード⑦：水素エネルギー社会
    - ・関連キーワード⑧：燃料電池
    - ・関連キーワード⑨：バイオ燃料
    - ・関連キーワード⑩：メタンハイドレート
    - ・関連キーワード⑪：カーボンフットプリント

### 第3章 詳論②：生物多様性——名古屋 COP10 に向けて高まる関心

- 1 生物多様性の概念
- 2 生物多様性条約の概要
  - A バイオセーフティに関するカルタヘナ議定書
  - B エコシステムアプローチ・作業計画
  - C 2010年目標・生物多様性条約戦略計画
  - D ボン・ガイドライン
- 3 生物多様性を保全する意義
- 4 生物多様性の現状と評価
- 5 企業と生物多様性
- 6 COP10 に向けて
  - ・関連キーワード⑫：危機遺産

### 第4章 詳論③：エコ偽装——古紙パルプ配合率偽装を中心に

- 1 エコ偽装の表面化
- 2 再生紙とは
- 3 原因と対策
- 4 再生紙普及の経緯と「乖離」の始まり
- 5 「乖離」の構図と基準改定
- 6 環境に配慮した用紙とは
  - ・関連キーワード⑬：LCA
  - ・関連キーワード⑭：環境 JIS

・関連キーワード⑮：SRI

## 第Ⅱ編 データで見る環境問題～ファクト

### 第Ⅱ－1部 データで見る地球環境問題

#### 第1章 地球温暖化問題

- 1 地球温暖化問題の現状と将来予測
  - A IPCCについて
  - B 地球温暖化の現状
  - C 予測される気候変化とその影響
- 2 温室効果ガス排出量
  - A 世界の温室効果ガス排出量
  - B 日本の温室効果ガス排出量

#### 第2章 オゾン層破壊問題

- 1 オゾン層の形成・分布・破壊の現状
  - A オゾン層の形成と分布
  - B オゾン層の破壊
  - C 南極オゾンホール
- 2 オゾン層破壊物質の排出
  - A オゾン層破壊物質
  - B 塩素・臭素の発生源
  - C オゾン層破壊物質の生産・消費量の推移

#### 第3章 酸性雨問題

- 1 世界の酸性雨の状況
- 2 日本の酸性雨の状況

#### 第4章 森林破壊問題

- 1 世界の森林面積の増減
- 2 森林による炭素固定化
- 3 世界の木材生産量

#### 第5章 砂漠化問題

#### 第6章 生物多様性の減少問題

#### 第7章 越境問題

### 第Ⅱ－2部 データで見る日本の環境問題

#### 第1章 大気汚染

- 1 二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)
  - A 物質の概要
  - B SO<sub>2</sub>による大気汚染の状況
- 2 二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)
  - A 物質の概要
  - B NO<sub>2</sub>による大気汚染の状況
- 3 浮遊粒子状物質(SPM)
  - A 物質の概要
  - B SPMによる大気汚染の状況
- 4 一酸化炭素(CO)
  - A 物質の概要
  - B COによる大気汚染の状況
- 5 光化学オキシダント(Ox)
  - A 物質の概要
  - B 光化学オキシダントによる大気汚染の状況
- 6 有害大気汚染物質
  - A 物質の概要
  - B 有害大気汚染物質による大気汚染の状況

## 第2章 水質汚濁問題

- 1 健康項目
- 2 生物的酸素要求量(BOD)・化学的酸素要求量(COD)
- 3 全窒素・全燐
- 4 全亜鉛

## 第3章 土壌・地盤環境問題

- 1 地下水汚染
- 2 土壌汚染
- 3 地盤沈下

## 第4章 ダイオキシン問題

## 第5章 騒音・振動・悪臭問題

- 1 苦情件数
- 2 騒音環境基準の適合状況

## 第6章 廃棄物処理・資源循環

- 1 物質フロー
- 2 一般廃棄物処理
- 3 産業廃棄物処理

## 第7章 公害苦情

## 第8章 土地利用・生態系問題

- 1 土地利用と植生自然度の変化
- 2 日本のレッドリスト記載種数(動物・植物)
- 3 環境影響評価実施状況

## 第II-3部 届出・報告制度に基づく排出量(温室効果ガス・PRTR)

### 第1章 温室効果ガス排出量

- 1 概要
- 2 特定排出事業所
- 3 特定貨物輸送事業者
- 4 特定旅客輸送事業者・特定航空輸送事業者

### 第2章 化学物質移動・排出量

- 1 届出排出量等の概要
- 2 届出外排出量の概要

## 第III編 注目課題の最新動向～トレンド

### 第III-1部 気候変動(地球温暖化)問題

#### 第1章 気候変動(地球温暖化)問題の現状

#### 第2章 地球温暖化防止に向けた国際交渉の経緯

- 1 気候変動に関する政府間パネル
  - A これまでの経緯
  - B IPCC 第1次評価報告書の概要
  - C 第1評価報告書以降の動き
  - D IPCC 第2次評価報告書の概要
  - E IPCC 第3次評価報告書の概要
  - F IPCC 第4次評価報告書の概要
- 2 「地球再生計画」
- 3 気候変動枠組条約
  - A 経緯等
  - B 条約の概要
  - C 条約の発効と国別報告書
  - D 第1回締約国会議(COP1)
- 4 第3回締約国会議の結果と京都議定書の概要
  - A COP3の結果

- B 京都議定書の概要
- 5 COP3 後の状況
  - A 第4回締約国会議
  - B 第5回締約国会議
  - C 第6回締約国会議
  - D 第6回締約国会議再開会合
  - E 第7回締約国会議
  - F 第8回締約国会議
  - G 第9回締約国会議
- 6 COP10 以降ならびに京都議定書締約国会合の状況
  - A 第10回締約国会議
  - B 第11回締約国会議及び京都議定書第1回締約国会合
  - C 第12回締約国会議及び京都議定書第2回締約国会合
  - D 第13回締約国会議及び京都議定書第3回締約国会合
  - E 第14回締約国会議及び第4回締約国会合
- 6 我が国における京都メカニズムの活用
  - A 京都メカニズムの概要と経緯
  - B CDM 及びプロジェクトの概要
  - C JI 及びプロジェクトの概要
  - D 排出量取引の概要
  - E CDM/JI プロジェクトの承認状況
- 7 国内排出量取引制度について
  - A 国内排出量取引制度導入の道筋
  - B 国内排出量取引制度とは
  - C 排出量取引の国内統合市場の試行的実施について
  - D 国内排出量取引制度の課題

### 第3章 地球温暖化の防止に向けた今後の国内対策

- 1 これまでの経緯
  - A 地球温暖化対策推進本部の設置
  - B 京都議定書の締結に向けた動き
  - C 新大綱による国内対策
  - D 京都議定書の締結及び地球温暖化対策推進法の改正
  - E 京都議定書目標達成計画の策定及び進捗状況

## 第Ⅲ－2部 化学物質

### 第1章 化学物質対策の概要

## 第2章 化学物質審査規制法

- 1 経緯
- 2 現在法の概要
- 3 Japan チャレンジプログラム
- 4 化審法の見直し

## 第3章 化学物質排出把握管理促進法

- 1 経緯
  - A PRTR 制度
  - B MSDS 制度
- 2 化管法及び改正施行令の概要
  - A 対象となる化学物質
  - B 対象となる事業者
  - C 対象事業者が届け出るもの(排出量・移動量)
  - D MSDS に記載すべき内容
  - E 対象事業者以外からの排出(国の推計)
  - F 2008年11月の施行令改正の概要と移行スケジュール
- 3 化学物質の排出量・移動量の集計結果
  - A 届出排出量・届出外排出量の合計と構成
  - B 排出先別届出排出量・移動量
  - C 化学物質の種類別の届出排出量・移動量
  - D 業種別の届出排出量・移動量
  - E 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の集計結果

## 第4章 ダイオキシン類

- 1 ダイオキシン類問題の概要
- 2 ダイオキシン対策推進基本指針
- 3 ダイオキシン類対策特別措置法
- 4 ダイオキシン類の測定方法
- 5 ダイオキシン類による汚染の状況
  - A 環境中の汚染状況
  - B 人の摂取量
- 6 事業活動に伴うダイオキシン類の削減

## 第5章 石綿(アスベスト)

- 1 石綿(アスベスト)について
  - A アスベスト問題の経緯
  - B アスベストの成因と種類
  - C 性質

- D 有害性
- E 用途
- 2 石綿(アスベスト)の有害性への対応(製造全面禁止以前)
  - A 2006年までの対応
  - B この間の海外での対応
  - C アスベスト問題に係る政府の総合対策
- 3 製造全面禁止の法規等とその効果
  - A 労働安全衛生法施行令の改正
  - B 石綿障害予防規則の改正
  - C 石綿に係る法規等
  - D 石綿対策による効果
- 4 アスベスト代替品の検討
- 5 アスベストの無害化处理

#### 第6章 内分泌攪乱化学物質(環境ホルモン)

- 1 経緯等
- 2 環境省の取り組み状況と今後の対応方針「ExTEND2005」
- 3 環境省以外の各省の取り組み

#### 第7章 世界の化学物質対策の動向

- 1 はじめに
- 2 国際的な化学物質対策
  - A 国際連合の活動
  - B SAICM(国際化学物質管理戦略)
  - C OECDの化学物質対策
- 3 EUの化学物質規制
  - A REACH(欧州化学品規制)規則
  - B RoHS(電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限)指令

### 第Ⅲ－3部 バイオマス

まえがき

#### 第1章 バイオマス・ニッポン実現に向けた背景

- A 地球温暖化の防止に向けて
- B 循環型社会の形成に向けて
- C 競争力のある新たな戦略的産業の育成に向けて
- D 農林漁業，農山漁村の活性化に向けて

#### 第2章 バイオマス・ニッポン総合戦略

- A バイオマス・ニッポン総合戦略の策定と見直しの経緯

- B 我が国のバイオマス利活用の現状
- 1 バイオマス・ニッポン総合戦略のめざすもの
  - A バイオマス・ニッポンの姿(2030年を見据えて)
  - B バイオマス・ニッポンの進展シナリオ
  - C バイオマス・ニッポン実現に向けた具体的目標
- 2 バイオマス・ニッポン実現に向けた基本的戦略
  - A 全般的事項に関する戦略
  - B バイオマスの生産, 収集・輸送に関する戦略
  - C バイオマスの変換に関する戦略
  - D バイオマスの変換後の利用に関する戦略
  - E アジア等海外との連携に関する戦略
- 第3章 国産バイオ燃料の大幅な生産拡大**
  - A 報告書策定の経緯
  - B 我が国におけるバイオマスの賦存量
  - C 我が国及び諸外国におけるバイオマス燃料の現状
  - D 国産バイオ燃料の大幅な生産拡大のための課題・検討事項
  - E 国産バイオ燃料の大幅な生産拡大のための工程表
  - F 国産バイオ燃料の生産目標
- 第4章 バイオマスタウン**
  - A バイオマスタウン構想基本計画
  - B バイオマスタウンの募集と公表
- 第5章 次世代自動車・燃料イニシアティブ**
  - A 自動車・燃料の環境エネルギー戦略
  - B 5つの戦略の概要
  - C バイオ燃料に関する戦略
  - D 制度基盤検討会のとりまとめ結果
- 第6章 バイオマス・ニッポン実現に向けての取り組み**
  - A バイオエタノール混合ガソリンの事業化
  - B バイオディーゼルの事業化
  - C ソフトセルローズ利活用技術確立事業(セルローズ系エタノール開発事業)
  - D バイオマスプラスチック製造コスト低減に向けた技術開発事業

#### 第IV編 環境行動～アクション

##### 第IV－1部 国際協力

## 第1章 国際機関の環境問題への対応

- 1 国際連合を中心とした環境問題への取り組み
- 2 その他の主要な国際機関における環境協力の動き
  - A OECD 環境アウトルック 2030

## 第2章 我が国における国際環境協力

- 1 アジア・太平洋地域における取り組み
- 2 3R イニシアティブ
  - A 経緯
  - B 3R イニシアティブ閣僚会合
  - C 3R イニシアティブ高級事務レベル会合
- 3 2国間の枠組みによる連携
  - A 環境保護協力協定
  - B 科学技術協力協定に基づく環境協力
  - C その他の活動
- 4 開発途上地域の環境保全

## 第3章 環境課題ごとの国際協力の状況

- 1 オゾン層破壊問題
  - A オゾン層保護問題の経緯
  - B 条約及び議定書の内容
  - C オゾン層保護法の制定の経緯及び内容
- 2 酸性雨問題
  - A 酸性雨問題対策の変遷
- 3 有機廃棄物の越境移動問題
  - A 経緯等
  - B バーゼル条約の概要
  - C 内外の動向
- 4 海洋汚染問題
  - A 海洋汚染とその現状
  - B 国際的取り組み

## 第IV-2部 我が国の環境政策・予算

### 第1章 基本計画, 国家戦略

- 1 環境基本計画
  - A 第3次環境基本計画
  - B 環境基本計画の進捗状況の点検
- 2 循環型社会形成推進基本計画

- A ポイント1：3つの社会への統合的取り組み
  - B ポイント2：地域循環圏の構築等
  - C ポイント3：指標の充実
  - D ポイント4：国際的な循環型社会の構築
  - E 解 説
- 3 21世紀環境立国戦略
- A 21世紀環境立国戦略の概要
  - B 解 説
- 4 生物多様性国家戦略
- A 第3次生物多様性国家戦略の概要
  - B 解 説
- 5 京都議定書目標達成計画
- A 温室効果ガスの排出削減対策
  - B 温室効果ガスの吸収源対策
  - C 京都メカニズムの活用
  - D 横断的施策・基盤的施策
- 6 低炭素社会づくり行動計画
- A 我が国の目標
  - B 革新的技術開発
  - C 既存先進技術の普及
  - D 国全体を低炭素へ動かす仕組み
  - E 農山漁村の活躍，都市や地域づくり，環境教育
  - F 国民運動

## 第2章 政府・地方公共団体環境保全経費

- 1 経済財政改革の基本方針
- 2 国(府省)の環境保全経費
- 3 地方公共団体の公害対策経費
  - A 公害対策経費の総額
  - B 公害対策経費の内訳
  - C 公害対策経費の推移

## 第3章 2009年度予算環境保全経費の概要

- 1 環境保全経費の総額
- 2 環境保全経費の事項別内訳
- 3 環境保全経費の府省別内訳
- 4 環 境 省
  - A 2009年度予算案の概要

- B 2008 年度補正予算
- 5 経済産業省
  - A 2009 年度予算案の概要
  - B 2008 年度補正予算
- 6 国土交通省
  - A 2009 年度予算案の概要
  - B 2008 年度補正予算
- 7 農林水産省
  - A 2009 年度予算案の概要
  - B 2008 年度補正予算

#### 第4章 審議会等の動向

- 1 環境省
  - A 中央環境審議会
- 2 経済産業省
  - A 産業構造審議会
  - B 総合資源エネルギー調査会
- 3 国土交通省
- 4 農林水産省

### 第IV－3部 地域活性化

#### 第1章 構造改革特別区域

- 1 構造改革特別区域の意義
- 2 環境関連特別区域

#### 第2章 都市再生に関わる取り組み

- 1 背景
- 2 都市再生プロジェクト
  - A 大都市圏におけるゴミゼロ型都市への再構築
  - B 大都市圏における都市環境インフラの再生
  - C 地方中枢都市における先進的で個性ある都市づくり
  - D 琵琶湖・淀川流域の再生～歴史・文化を生かし自然との共生をめざす流域全体

での一体的取り組み

- E 都市再生事業を通じた地球温暖化対策・ヒートアイランド対策の展開

#### 第3章 地域再生に関わる取り組み

- 1 背景
- 2 地域再生推進のための基本指針
- 3 環境関連の地域再生計画

## 第4章 エコタウン事業

- 1 エコタウン事業の概要
- 2 エコタウン事業の課題と今後の取り組み

## 第IV-4部 環境経営

### 第1章 環境マネジメントシステム

- 1 環境マネジメントシステム
- 2 ISO14001 シリーズ
- 3 エコアクション 21
- 4 その他の仕組み
  - A K E S
  - B エコステージ

### 第2章 環境ラベルと環境パフォーマンス評価

- 1 環境ラベル
  - A タイプ I (ISO14024)
  - B タイプ II (ISO14021)
  - C タイプ III (ISO14025)
- 2 環境パフォーマンス評価
  - A 概 要
  - B 事業者の環境パフォーマンス指標ガイドライン

### 第3章 環境会計と環境報告書

- 1 環境会計
  - A 環境会計に関する動向
  - B 環境会計ガイドライン
- 2 環境報告書
  - A 環境報告書に関する動向
  - B 環境報告書ガイドライン
  - C 環境報告書の信頼性を高めるための自己評価の手続き
- 3 環境活動レポート
  - A 環境活動評価プログラム(エコアクション 21)
  - B 環境活動レポートガイドライン

### 第4章 サプライチェーンのグリーン化

- 1 背 景
- 2 我が国企業における取り組み状況
- 3 グリーン調達調査共通化協議会
  - A 協議会の概要

- B 協議会によるガイドラインの策定
- 4 企業の取り組み事例
- 5 国及び自治体におけるグリーン購入

#### 第5章 環境投資その他のキーワード

- 1 CSR 格付け, サステイナブル格付け
- 2 企業の社会的責任(CSR)
- 3 社会的責任投資(SRI)
- 4 クリーン開発メカニズム(CDM)
- 5 エコファンド
- 6 ESCO
- 7 グリーン電力基金等
- 8 カーボン・オフセット

### 第IV－5部 環境教育

#### 第1章 環境教育の歴史

- 1 環境教育の歴史－世界の動き
- 2 環境教育の歴史－日本の動き

#### 第2章 環境教育推進法の制定

- 1 環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律の制定

#### 第3章 ESD－持続可能な開発のための教育

- 1 国際実施計画の目的
- 2 国連持続可能な開発のための教育の10年
  - A 「国連持続可能な開発のための教育の10年」の目標
  - B 持続可能性に関する諸問題
  - C 価値観
  - D DESDのその他の国際的な教育的優先事項への連関
- 3 我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画
  - A 我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画の概要

#### 第4章 洞爺湖サミットにおける「環境教育」

### 第IV－6部 研究開発

#### 序章 我が国の科学技術研究開発の基本方針

#### 第1章 産業技術総合研究所における環境・エネルギー分野の研究戦略概要

- 1 第2期中期計画及び2008年度計画に示された取り組みの概要
- 2 産業競争力向上と環境負荷低減を実現するための材料・部材・製造プロセス技術の研究開発

- A 低環境負荷型の革新的ものづくり技術の実現
- B 機能部材の開発による輸送機器及び住居から発生する CO<sub>2</sub> の削減
- 3 環境・エネルギー問題を克服し豊かで快適な生活を実現するための研究開発
  - A 環境予測・評価・保全技術の融合による環境対策の最適解の提供
  - B 地圏・水圏循環システムの理解に基づく国土の有効利用の実現
  - C エネルギー技術及び高効率資源利用による低環境負荷型化学産業の創出
  - D 分散型エネルギーネットワーク技術の開発による CO<sub>2</sub> 排出量の削減とエネルギー自給率の向上
  - E バイオマスエネルギーの開発による地球温暖化防止への貢献
  - F 省エネルギー技術開発による CO<sub>2</sub> 排出の抑制

## 第2章 新エネルギー・産業技術総合開発機構における研究開発動向

- 1 新エネルギー・産業技術総合開発機構の業務について
- 2 NEDO における環境分野の中期計画及び 2008 年度における研究計画
  - A 環境分野
  - B 燃料電池・水素エネルギー利用技術分野
  - C 新エネルギー技術分野
  - D 省エネルギー技術分野
  - E 環境調和型エネルギー技術分野
  - F 石炭資源開発分野

## 第IV－7部 助 成

### 第1章 資金上の措置等

- A 中小企業に対する措置
- B 設備導入・事業開発支援
- C 研究・技術開発支援
- D 競争的資金制度(環境関連・抜粋)

### 第2章 税制上の措置等

- A 地球温暖化対策に係る優遇措置
- B 公害防止施策・環境汚染防止に係る優遇措置
- C 廃棄物・リサイクル対策に係る優遇措置
- D 自動車に関する優遇措置

## 第V編 環境法令～コンプライアンス

### 第V－1部 環境基本法

## 第1章 環境基本法

- A 目的
- B 構成
- C 解説

## 第V-2部 公害防止関連法

### 第1章 大気関係

#### 1 大気汚染防止法

- A 目的
- B 構成
- C 固定発生源に対する規制の解説
- D 自動車排出ガス規制の解説

#### 2 自動車NO<sub>x</sub>・PM法

- A 目的
- B 構成
- C 解説

#### 3 特殊自動車排出ガス規制法(オフロード法)

- A 目的
- B 構成
- C 解説

### 第2章 水質関係

#### 1 水質汚濁防止法

- A 目的
- B 構成
- C 解説

#### 2 湖沼法

- A 目的
- B 構成
- C 解説

#### 3 瀬戸内法

- A 目的
- B 構成
- C 解説

#### 4 水道水原保全法

- A 目的
- B 構成

C 解 說

5 海洋汚染等防止法

A 目 的

B 構 成

C 解 說

6 下水道法

A 目 的

B 構 成

C 解 說

7 浄化槽法

A 目 的

B 構 成

C 解 說

**第3章 生活環境關係**

1 騒音規制法

A 目 的

B 構 成

C 解 說

2 振動規制法

A 目 的

B 構 成

C 解 說

3 悪臭防止法

A 目 的

B 構 成

C 解 說

**第4章 土壤・地下水關係**

1 土壤汚染対策法

A 目 的

B 構 成

C 解 說

2 農用地汚染防止法

A 目 的

B 構 成

C 解 說

3 工業用水法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

4 ビル用水法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第5章 鉱害関係**

1 鉱山保安法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

2 金属鉱害特措法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第6章 公害防止組織法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第V-3部 循環・廃棄物処理関係法**

**第1章 循環型社会基本法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第2章 廃棄物処理関係**

1 廃棄物処理法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

2 産廃特措法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

3 パーゼル法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

4 PCB 処理特別措置法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第3章 リサイクル関係法**

1 リサイクル法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

2 容器包装リサイクル法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

3 家電リサイクル法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

4 食品リサイクル法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

5 建設リサイクル法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

6 自動車リサイクル法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第V-4部 化学物質関連法**

**第1章 化 審 法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

## 第2章 PRTR法(化管法)

A 目 的

B 構 成

C 解 説

## 第3章 ダイオキシン特措法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

D ダイオキシン類の測定方法

E ダイオキシン類の排出量の目録(排出インベントリー)

F 事業活動に伴うダイオキシン量を削減する計画

## 第V-5部 地球環境保全関係法

### 第1章 温暖化対策推進法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

### 第2章 オゾン層保護法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

### 第3章 フロン回収破壊法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

## 第V-6部 省エネ・新エネ関連法

### 第1章 省エネルギー法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

### 第2章 省エネ・リサイクル支援法

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第3章 代エネ法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第4章 新エネ法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第5章 新エネルギー等電気利用法(RPS法)**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第6章 揮発油等品確法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第V-7部 社会制度関連法**

**第1章 グリーン購入法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第2章 環境配慮契約法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第3章 環境配慮促進法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第4章 環境教育推進法**

A 目 的

B 構 成

C 解 説

**第V－8部 生物多様性・立地環境関連法**

**第1章 生物多様性基本法**

- A 目的
- B 構成
- C 解説

**第2章 工場立地法**

- A 目的
- B 構成
- C 解説

**第3章 環境影響評価法**

- A 目的
- B 構成
- C 解説

**第V－9部 環境安全関連法**

**第1章 労働安全衛生法**

- A 目的
- B 構成
- C 解説

**第2章 毒劇法**

- A 目的
- B 構成
- C 解説

**第3章 高压ガス保安法**

- A 目的
- B 構成
- C 解説

**第4章 消防法**

- A 目的
- B 構成
- C 解説

**第V－10部 補償・救済関連法**

**第1章 公健法**

- A 目的
- B 構成

C 解 說

**第2章 公防費負担法**

A 目 的

B 構 成

C 解 說

**第3章 石綿救済法**

A 目 的

B 構 成

C 解 說

**第V-11部 処罰・紛争処理関連法**

**第1章 公害紛争処理法**

A 目 的

B 構 成

C 解 說

**第2章 公害罪法**

A 目 的

B 構 成

C 解 說